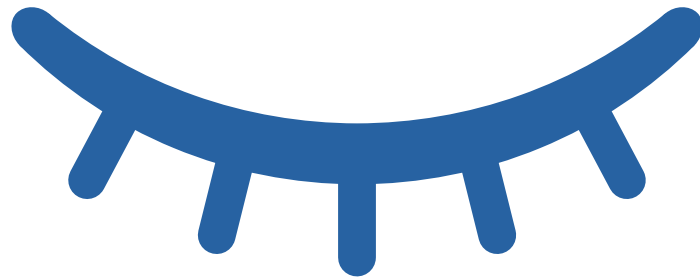


従来の健診とは異なる
まったく新しい目の検診が始まります

目がいつまでも
健康であるために



アイドック

I do EyeDock.



中之島アイセンター

Nakanoshima Eye Center

中之島アイセンターが 提供するアイドック

五感の中で、視覚から得られる情報は8割を占めています。

人生100年時代。

いつまでも元気で充実した日々を過ごすためには

目の健康寿命を延ばすことが大切です。

人生
100年時代

私たちがめざす、アイドック

中之島アイセンターのアイドックは、
単に検査をして終わりではありません。
あらゆる年代に対応した眼の検査を行い、
自覚のない病気の発見や失明リスクの高い疾患の
早期発見・早期治療を行います。

視力低下による
全身への影響

- ・認知症
- ・うつ病
- ・転倒リスクなど

失明リスクの高い疾患

- ・緑内障
- ・加齢黄斑変性
- ・糖尿病網膜症など

日本の視覚障がい者が
2030年までに約200万人まで
増加すると予想
(日本眼科医会)

大阪大学医学部附属病院と連携した フォローアップ体制

全ての眼科疾患を網羅する20項目の検査を実施することで、初期の緑内障・加齢黄斑変性などの早期発見と診断を行います。
大学病院と同等の精度の高い診断を通じて、わずかなリスクでも、いち早く検出し、速やかな対応と治療につなげます。

全ての眼疾患を網羅した
充実した検査項目

大学病院で経験を積んだ
スタッフによる
高水準な検査と診断

異常があれば、
治療までフォロー

一般健診と当院アイドックとの違い

一般健診 3項目 (一般的な人間ドックで受けられる目の検査)

検査項目

- 視力
- 眼圧
- 眼底撮影

検査内容

必要最小限の眼科の基本検査のみ。

わかること

(眼の限られた病気の疑いが
わかる程度)

1. 緑内障など視神経の病気の疑い。
2. 動脈硬化・高血圧・糖尿病などに伴う進行した眼底変化。

当院アイドック 20項目

検査項目

- 他覚的屈折
- 矯正視力 遠見
- 矯正視力 近見
- 眼鏡視力
- 眼鏡度数
- 眼圧
- 眼軸長
- 眼位
- 眼球運動
- 輻湊 (ふくそう)
- 両眼視機能
- 調節機能
- 波面収差解析
- 角膜内皮細胞
- 前眼部三次元画像解析
- 後眼部三次元画像解析
- 広角眼底撮影
- 光干渉断層血管造影
- 細隙灯顕微鏡検査
- 涙液層破壊時間

検査内容

どのくらい見えているかと基本的な「見る」機能を調べます。

涙液の質や眼の渇きにより目の表面(角膜)が傷んでいないかを調べます。

角膜の細胞数を調べ、前眼部を断層撮影することで角膜や眼の形状を調べます。

網膜の80%にあたる広範囲な眼底写真と、網膜や視神経の詳細な断層写真を撮影します。

わかること

(眼のすべての病気が
あるか否かがわかる)

1. 失明原因の疾患の有無がわかる。
緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性など。
2. 白内障の有無と程度がわかる。
3. 角膜疾患・ドライアイの程度。
4. 老視・眼精疲労・斜視の有無と程度がわかる。

年代別 気にかけて欲しい病気

● 40歳以上

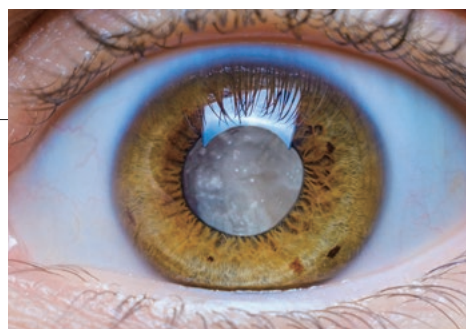
● 成人(20～40歳)

● 19歳以下

白内障



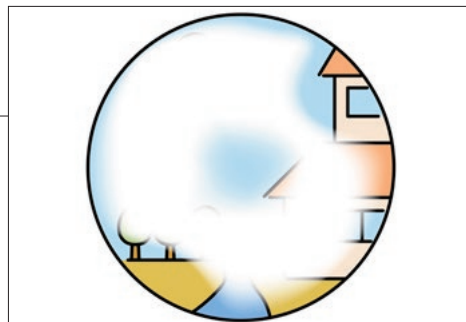
カメラのレンズの役割をしている水晶体がにごる病気です。目がぼやける、かすむ、ピントが合いにくいなどの症状が出てきます。早い人では40歳くらいから自覚症状が出てくるため、機能低下との判別が大切です。発症率は、50歳代：約50%、60歳代：約70%、70歳代：約90%、80歳代：ほぼ100%と報告されています。



緑内障



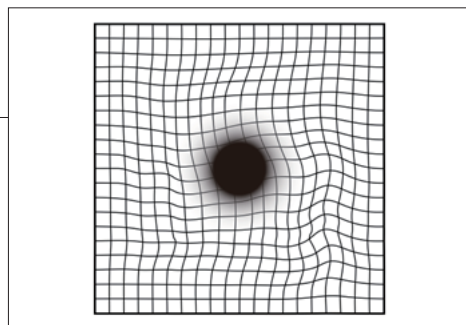
40歳以上の日本人では、約20人に1人、70歳以上では約8人に1人に緑内障があることがわかっています。視神経がいたみ、自覚がないまま視野が欠けていき元には戻りません。早期発見・早期治療により進行を遅らせることがとても大切です。



加齢黄斑変性



加齢黄斑変性は、加齢によって網膜の中心部に障害が起きる病気です。ものが歪んで見える、視野の真ん中が黒ずむなどの症状がでます。50歳以上の約80人に1人の割合に見られます。



糖尿病性網膜症



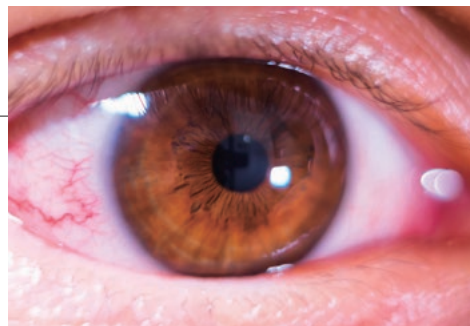
糖尿病の三大合併症の一つです。血糖値が高い状態が続くと網膜に出血やむくみが生じ、進行すると失明に至る病気です。糖尿病予備軍と指摘された時点でも、網膜症がすでに進行している場合があります。自覚がないことが多く、定期的な眼底検査が重要です。



ドライアイなどの角膜疾患



角膜（黒目）は、表面が滑らかで透明であること、内側の細胞の数が十分あること、形状がいびつでないことが大事です。コンタクトレンズユーザー、屈折矯正手術の既往がある方、パソコンやスマートフォンの作業が長い、室内乾燥、喫煙・まばたきが不十分などの生活習慣がある方は、定期的にチェックする必要があります。



眼精疲労



長時間の目を使う作業は、眼だけでなく頭痛・肩こりなど全身に症状が現れ、十分な休息や睡眠をとっても回復しなくなります。眼精疲労の多くは、目を正しく使えば防ぐことができます。

度数の合わない眼鏡の使用、老視（老眼）への未対応など不適切な条件で作業をしていないかをチェックし、眼疾患との判別をすることが大切です。



老視



加齢に伴い水晶体が硬化することで、近くが見えにくくなります。40歳を過ぎると自覚症状が出てくることが多く、見ているものを離した方が見やすい自覚があれば、老視が始まっている可能性があります。近用眼鏡で見え方を改善することができますが、眼疾患との判別が大切です。



近視 乱視



子どもたちの近視の増加は、世界的な問題となっています。近視の存在は、将来目の病気にかかるリスクが高くなることが明らかとなっており、子ども時代に近視を進行させない取り組みが、非常に重要であると考えられています。根拠のある正しい対応をすることで近視の進行を予防しましょう。



スマホ内斜視



スマートフォンやゲーム機など手元で画面を長時間見続けることにより、眼球を動かす筋肉や神経のバランスがくずれて片方の黒目が内側に寄ってしまった状態をさします。子どもや若年層での発症が増えており、予防的な使い方をすること、発症しやすい要因がないかを調べるのが推奨されます。



検査コース

		アイドック アドバンスコース	アイドック ベーシックコース	眼精疲労コース	小中高校生 コース	オプション
項目		5万円(税抜)	3万5千円(税抜)	3万5千円(税抜)	3万5千円(税抜)	※2
検査	他覚的屈折	●	●	●	●	
	矯正視力 遠見	●	●	●	●	
	矯正視力 近見	●		●	●	●
	眼鏡視力	●		●	●	●
	眼鏡度数	●		●	●	●
	眼圧	●	●	●	●	
	眼軸長	●		●	●	●
	眼位	●		●	●	●
	眼球運動	●		●	●	●
	輻湊（ふくそう）	●		●	●	●
	両眼視機能	●		●	●	●
	調節機能	●		●	●	●
	波面収差解析	●			●	●
	角膜内皮細胞	●				●
	前眼部三次元画像解析	●	●		●	
	後眼部三次元画像解析	●	●			
	広角眼底撮影	●	●			
	光干渉断層血管造影	●	●			
	視野					●
	散瞳					●
	涙液分泌機能					●
診察	細隙灯顕微鏡検査	●	●	●	●	
	涙液層破壊時間	●	●	●		
検査時間※1		約60分	約30分	約45分	約60分	

※1 診察までの待ち時間・診察時間は含みません

※2 オプションの金額についてはお問い合わせください

※3 こちらについては、まとめて受けて頂かないと評価が難しいため個別に受けることはできません

アイドック アドバンスコース

目をすみずみまで検査して欲しいという方にはこのコース

眼科疾患を網羅的に調べます

アイドック ベーシックコース

目の不調が気になりだした40歳以上の方におすすめのコース

白内障・加齢黄斑変性・緑内障など眼科疾患の有無を調べます

眼精疲労コース

疲れ目や目の渴きが気になる方、見えにくさや肩こり、頭痛など気になる方はこのコース

眼の機能的な低下と眼精疲労の原因を調べます

小中高校生コース

近視の進行が気になる方、目の向きが気になる方、お子様にはこのコース

近視・スマホ内斜視などを調べます

検査の説明

検査項目	検査の説明
他覚的屈折	器械で近視・遠視・乱視の度数（屈折値）を測定します。近視による眼疾患の発症リスクが分かります
矯正視力 遠見	他覚的屈折値をもとに遠方視（5m）での視力を測定します
矯正視力 近見	他覚的屈折値をもとに近方視（30cm）での視力を測定します
眼鏡視力	眼鏡やコンタクトレンズをつけている時の視力を調べます
眼鏡度数	使用中の眼鏡のおおよその度数を調べます
眼圧	眼のかたさを調べます
眼軸長	角膜から網膜までの眼球の長さを調べます
眼位	眼の位置のずれ（斜視や斜位）を調べます
眼球運動	眼球の動きを調べます
輻湊（ふくそう）	近くを見るときのための“より目”の機能を調べます
両眼視機能	両眼を使ってものをみる能力を調べます
調節機能	ピント合わせをする能力（調節力）を調べます
波面収差解析	角膜や眼球全体の収差（ぶれ）を測って解析します
角膜内皮細胞	角膜の内皮細胞の数・大きさ・形を調べることで、角膜の病気の有無が分かります
前眼部三次元画像解析	眼球の前方（角膜・隅角・虹彩など）の断層撮影や角膜の形状解析を行います。緑内障発作の予備軍かどうか分かります
後眼部三次元画像解析	網膜や視神経の断層像を撮影します。ごく初期の緑内障の診断や進行状態も分かります
広角眼底撮影	一般的な眼底写真よりも広範囲（80%以上）な領域を撮影することで、網膜や全身の血管の状態が分かります
光干渉断層血管造影	網膜・黄斑部の血管の状態を評価します
視野	見える範囲と見えにくい～見えない範囲を調べます
散瞳	眼の奥の周辺部まで観察するために、目薬をさして瞳孔を開きます
涙液分泌機能	分泌される涙の量を調べます
細隙灯顕微鏡検査	顕微鏡で光を眼に当てて結膜・角膜・前房・虹彩・水晶体等の状態を調べます
涙液層破壊時間	眼の表面の涙の安定性を調べることで、ドライアイの有無と程度が分かります

注意点

オプションについて

- 4コースの検査に加えて、より専門性の高い検査をご希望される方には、オプション検査があります。ご希望の方は当院にお問合せください。
- オプションのみの検査はお受けできません。

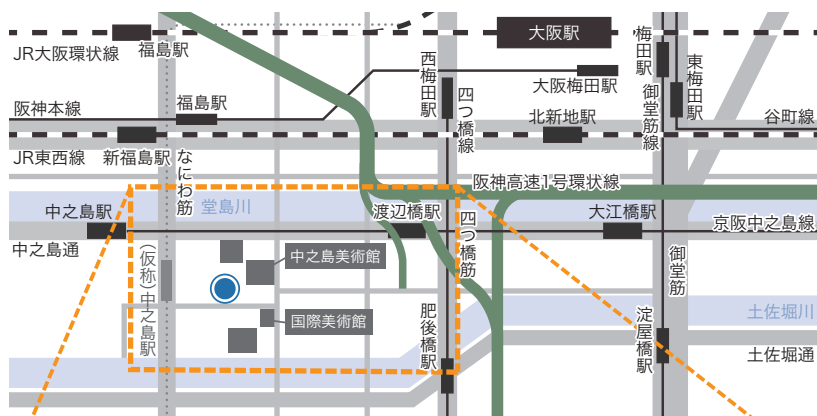
検査について

- コンタクトの方は、コンタクトをはずして検査します。ケースや替えのコンタクトをご持参ください。
- 眼鏡検査（眼鏡視力・眼鏡度数）に該当する方は、普段お使いの眼鏡を1つお持ちください。
- 検査ではまぶたやまつ毛に触れるので、過度なアイメイクは控えください。
- 体調不良や結膜炎の方は、ご予約の変更をお願いします。
- 当日の混み具合によっては、予定よりも検査時間を要することがあります。お時間に余裕をもってお越しください。

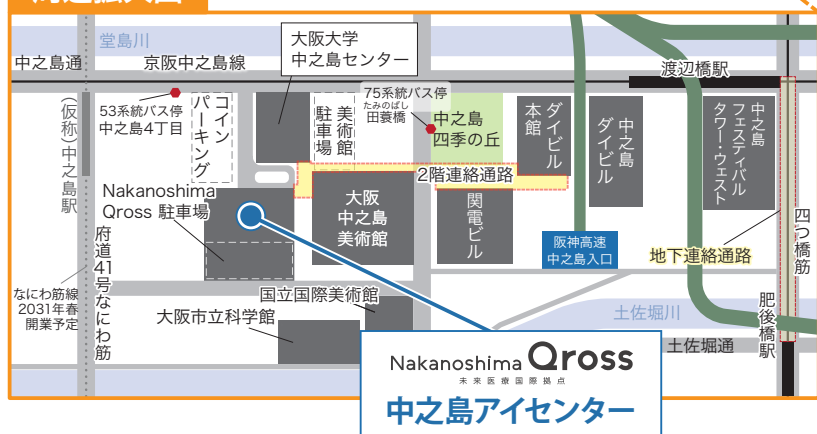
価格について

- 眼鏡をご使用でない方であっても価格に変更はありません。

アクセス



周辺拡大図



Nakanoshima Crossのアクセスページもご参照ください
<https://www.nakanoshima-cross.jp/management-body/?id=access>



●電車ご利用時

- ・京阪中之島線「中之島駅」、「渡辺橋駅」徒歩5分
- ・Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」徒歩10分
- ・Osaka Metro 御堂筋線、京阪本線「淀屋橋駅」徒歩15分
- ・JR 大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」、阪神本線「福島駅」徒歩10分

●バスご利用時

- ・大阪シティバス (53系統)
大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目(旧玉江橋)
下車 徒歩1分
- ・大阪シティバス (75系統) たみのぼし
大阪駅前バスターミナル→田蓑橋下車 徒歩2分

●タクシーご利用時

行き先：Nakanoshima Cross (ナカノシマ クロス)
 大阪大学中之島センター西側を左に曲がり直進して
 Nakanoshima Crossの正面につけてください。

●自家用車ご利用時

中之島通りを西に進み、大阪大学中之島センターが左側にあります。センターを越えてすぐのところを左折し車寄せのロータリー奥のところを右折し直進します。Nakanoshima Crossの建物南側に向かいます。係員の案内に従って立体駐車場に駐車をお願いします。
 ※検査を受けられる方は散瞳することもあります。車での来院はお控えください。
 ※Nakanoshima Crossの南側にある医科大学前通からは駐車場に入れませんのでご注意ください。
 ※車両によっては駐車が出来ない場合があります。

アイドック検査予約について

アイドックの検査は
 月～金 13:00-16:00で、
 完全予約制となります

	月	火	水	木	金	土	日・祝
13:00-16:00	●	●	●	●	●	/	/



中之島アイセンター

Nakanoshima Eye Center

中之島アイセンター

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-51 Nakanoshima Cross 3F
 TEL : 06-6147-2088 FAX : 06-6131-5156
<https://eyecenter.jp/>



アイドックのご予約・お問い合わせはこちら

お電話から

TEL : 06-6147-2088

お問い合わせ時間

月～金 9:00-12:00 | 13:00-17:00
 土 9:00-12:00